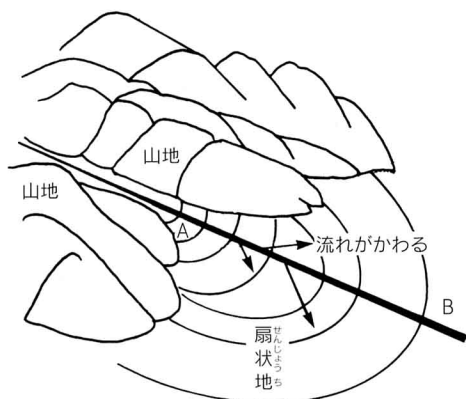
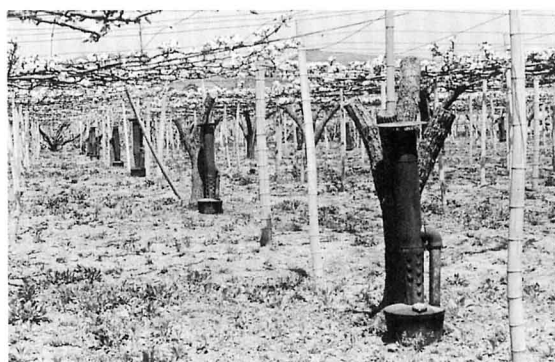
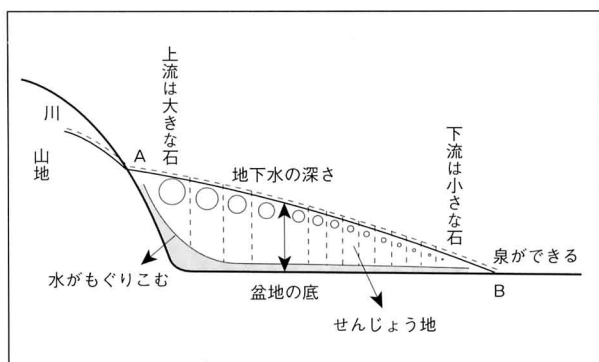


〈せんじょう地ができるしくみ〉



広い土地があっても、水がもぐりこんでしまったり、大きな石があつたりで、田や畑にするには、たいへんなことでした。

畑にしてからも、いろいろな災害からくだものを守る苦勞があります。

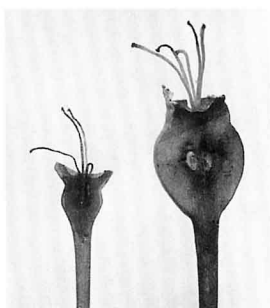


▲ 霜の害をふせくためのくふう (ストーブ)

・自然の災害や病虫害に対して人々は工夫をかさね、協力して梨作りをしています。



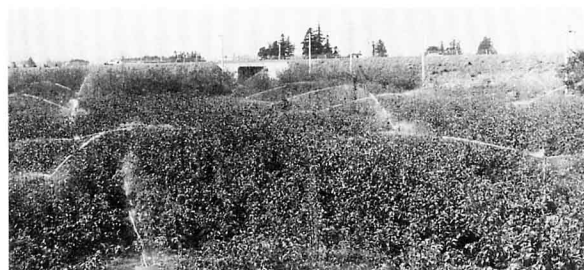
▲ 豪雪 (折れた枝)



▲ 霜害 (しもでやけた花弁)



▲ 病虫害を防ぐ (消毒)



▲ スプリンクラーで水をまく



▲ 低い梨だなの下で使う道具や機械の工夫



わたしたちの身のまわりにも、田や畑をきりひらいた苦勞や苦心のあとがみられます。お年よりにきいたり、記念碑をさがしてみましよう。